
大学教育学会ニュースレター

No.74 2007.2.2

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局:北海道医療大学内 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL0133-23-1487(直通)/FAX:0133-23-1487

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 第29回(2007年)大会

総合テーマ

「持続可能な社会と大学」

大学教育学会 第29回大会
企画委員会委員長 小笠原正明

(基本的趣旨)

大学教育学会は約27年前に「一般教育学会」として発足して以来、一貫して大学における教養教育の開発と改善を基本テーマの一つに掲げてきた。広義の教養教育には大学教育に必要な基本的なスキルを身につけさせ、専門教育への円滑な接続を果たすという役割に加えて、専門分化した大学の諸分野を適切な理念のもとに総合化し、ヒューマニティを核とする人間・社会・自然に関する幅広い識見と総合的判断力を形成するという役割がある。21世紀に入って、この2番目の役割が重要性を増しつつある。

近代以後の科学技術文明の巨大な発展とグローバル化は、人類の活動・生活水準を飛躍的に向上させた反面、地球環境問題や南北格差・貧困問題・国際紛争を深刻化させた。化石エネルギーの爆発的な消費による地球規模での気象変動や、資源の枯渇とそれに起因する諸問題は、遠い未来の問題ではなく、すでに現実の問題として私たちの身の回りに起こりつつある。このまま科学技術文明の無目的な発展と人間の活動を放置すれば、人々の生活が地球規模で行き詰まることはもはや自明であり、私たちと次の世代は、これまで経験したことの無い、新しい次元の新しい問題に直面することになる。

このような文明史的な転換点に立って、大学における教育・研究は、持続可能な社会の実現という課題に正面から取り組む必要に迫られている。農学や工学など実学の分野でも、分野ごとに独立性の高い開発指向型の教育から、全体との整合性を重視した持続可能な社会を目指す目的指向型の教育を目指す動きが起こっている。持続可能な社会をつくるためには、より幅広い総合的なものの見方や市民的倫理にもとづいて、新しい科学技術を開発し、経済活動を適切に調整し、正しい政策判断を行わなければならない。従来、教養教育に求められていたものが、大学の教育・研究活動全体に求められるようになったとも言える。この10年間、全国の大学で模索されてきた一般教育と専門教育の有機的連関ないし教養教育と専門教育の融合は、持続可能な社会と大学教育との関わりを問うことで一層深化されるとも言えよう。

本大会では、まず現在の教養教育に必要な21世紀の時代的精神とは何かという問題を提起し、それを具体化するための教養教育プログラムづくりを第一のテーマとする。第二のテーマとして、教養教育という枠組みをはずした上で、持続可能な社会における教育と研究はどのような性格を持つかを検討する。

大学教育学会 第 29 回(2007 年)大会
総合テーマ
「持続可能な社会と大学」
開催要領(概要)

1. 開催日時及び会場

期日 2007 年 6 月 9 日 (土) ～10 日 (日)

会場 東京農工大学小金井キャンパス 講義棟 (東京都小金井市)

(JR 中央線東小金井駅下車：徒歩 10 分 (東門まで約 7 分、東門から会場まで 3 分))

2. 大会日程

第 1 日：6 月 9 日 (土)

9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	14:20	15:50	19:00	20:30
受付	ラウンドテーブル	昼食	総会	学長挨拶	記念講演	シンポジウム I	懇親会	

第 2 日：6 月 10 日 (日)

8:30	9:00	12:00	13:00	16:00	16:30
受付	自由研究発表	昼食	シンポジウム II	閉会	

第 1 日 6 月 9 日 (土)

9:00～ 受付

9:30～12:00 ラウンドテーブル (150 分)

12:00～12:50 昼食 (シンポジウム I 打ち合わせ)

13:00～13:50 総会

14:00～14:20 学長挨拶 小畑秀文

14:20～15:40 記念講演「持続性科学の使命 (仮題)」吉川弘之(80 分)

15:50～18:50 シンポジウム I 「持続可能な社会と教養教育」 (180 分)

19:00～20:30 懇親会 (生協第二食堂)

第 2 日 6 月 10 日 (日)

8:30～ 受付

9:00～12:00 自由研究発表 (180 分)

12:00～12:50 昼食 (シンポジウム II 打ち合わせ)

13:00～16:00 シンポジウム II 「教育と研究を考える」 (180 分)

16:00～16:30 会長閉会挨拶・次期会場校挨拶

▲関連行事

6 月 8 日 (金) 16:30～18:00 理事会

18:00～19:00 理事会食事

3. ラウンドテーブル

ラウンドテーブルは、5年前の第24回大会から研究交流部会に代わって、会員のイニシアティブにより広くテーマを募る目的で実施されています。ここで取り上げられた研究テーマは学会として価値が認められると、本学会の課題研究のテーマとして採用されることも期待されています。この趣旨に沿って、今大会でもラウンドテーブルのための時間帯を設けました。積極的な応募を期待します。詳細は、本ニュースレター掲載の「自由研究」発表、「ラウンドテーブル」企画・申込要領をご参照下さい。

なお、ラウンドテーブルを企画される際には、企画者及び発表者が複数の教育研究機関にわたるようにご配慮下さい。また、ラウンドテーブルの様子は大学教育学会誌第29巻第2号にご報告いただきます。ラウンドテーブル全体の企画の取り纏めと調整は、大会企画委員会が行います。

4. 総会

議長 寺崎昌男

5. 基調講演

演題：「持続性科学の使命（仮題）」

講師：吉川弘之（産業技術総合研究所理事長）

6. シンポジウム I：「持続可能な社会と教養教育」

企画者：小笠原正明（東京農工大学）

シンポジスト：梶内新（北海道大学） 玉真之介（岩手大学） 戸田山和久（名古屋大学）

趣旨：これまでの大学教育は、それぞれ独立性の高い閉じた系としての専門領域に依拠して行われる傾向があった。これからの社会は、全体として整合性のある持続可能な開発を可能とする新しい科学と、自然と社会のダイナミックな相互作用をその中に組み込んだ新しい学問を必要としている。このような社会的要請に応えるために、大学の各専門領域はそれぞれが果たす役割と相互の関係を見直し、適切な発展の方向を模索している。それと同時に、幅広い総合的な視野を獲得するための教養教育が果たす役割がますます重要になっている。

このシンポジウムは、教養教育としての生物学、持続可能な社会を目指した教養教育、次の世代の科学哲学等について問題提起を行い、時代の精神に応える新しい教養教育とは具体的にどのようなものであるかを議論する。

7. 自由研究

会員の研究発表とそれに基づく討論は、学会活動の基本です。会員各位の積極的な参加を期待します。「自由研究」の発表要領は以下の通りです。

- (1)各発表とも発表 15 分+質疑応答 5 分、計 20 分です。
- (2)「発表テーマ」「発表内容要旨」を参考にして、いくつかの会場に分かれて行います。会場分けは、大会実行委員会にご一任願います。
- (3)会場ごとに、発表終了後、総合討論の時間を設けます。発表者は必ず総合討論にご参加下さい。
- (4)共同研究の成果を発表される場合は、発表者は本学会員が行うこととします。但し「発表要旨集」には、共同研究者として非会員の氏名も記載することができます。

8. シンポジウムⅡ:「教育と研究を考える」

企画者：舘昭（桜美林大学）

シンポジスト：安岡高志（東海大学） 永宮正治（高エネルギー加速器研究機構）
他一名交渉中

趣旨：大学における教育力の強化がいられている。しかし、それは大学が研究をおろそかにしていいことを意味するものではない。一方で大学に対する研究力の向上の要請も、強まっている。そして、そもそも研究に裏打ちされない教育など、大学教育ではないという考えもある。この問題に関するこれまでの議論は、教育については、教員にとって具体的に一定量の時間を費やす必要のある行為としてのティーチングと、例えば学生を研究に巻き込むことによっても成り立つ包括的な概念としてのエデュケーションとの区別もなしになされてきた。また、研究についても、狭い意味でのリサーチにのみ関心が集中し、教員の創造的活動全体を見通した、また分野の特性に配慮した議論とはなっていなかった。本シンポジウムでは、上記の問題状況を踏まえ、大学における教育と研究の関係を根本から整理し、問い直す。

第 29 回大会に関するお問い合わせは、下記にお願いします

〒183-0054 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学 大学教育センター
大学教育学会第 29 回大会実行委員会
実行委員 吉永契一郎
TEL/FAX: 042-367-5305
E-mail: yoshin@cc.tuat.ac.jp

「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画・申込要領

※「自由研究」と「ラウンドテーブル」の申込の締め切りは、**2007年3月2日（金）必着**です。

1. 「自由研究」の発表を希望される会員・「ラウンドテーブル」の企画（及び発表）を希望される会員は、大会実行委員会宛に以下の内容を明記して申し込みを行って下さい。

- (1) 「自由研究」発表テーマ・「ラウンドテーブル」企画テーマ
- (2) 発表者・企画者氏名（共同研究の場合は前述の「発表要領」参照）、所属機関・部局
- (3) 発表・企画内容概要（日本語 300 字程度、または英語 150 語程度）
- (4) キーワード（5 個以内）
- (5) PC 用プロジェクト使用希望の有無
（その他の機器を希望する場合は、別途、お問い合わせ下さい）
- (6) 連絡先（氏名／郵送先住所／電話／FAX／e-mail）

2. 申し込みは、「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画ともに、以下のいずれかの方法で行って下さい。

- (1) E-mail:kathy@cc.tuat.ac.jp
- (2) 郵送／FAX：別紙申込書に記入してお送り下さい。
〒183-0054 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学 大学教育センター
大学教育学会第 29 回大会事務局
加藤由香里 宛
FAX 042-367-5304

3. 「自由研究」発表の申し込みが受理されますと、大会実行委員会より「発表要旨」原稿の作成を依頼します。「発表要旨原稿作成要領」に従って **4月20日（金）必着**で原稿を大会実行委員会宛にご提出下さい。「ラウンドテーブル」の場合もこれに準じますが、詳細は企画者に個別にご連絡いたします。

＝事務局から＝

● 会費納入のお願い

今年度(2006年度)の会費が未納の方および過年度の会費、会誌代が未納の方々には、請求書、郵便払込取扱票を同封させていただきましたので**2月28日(水)**までにご入金ください(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます)。行き違いの場合にはご容赦のうえ、事務局までご連絡ください。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく同封の郵便払込取扱票をご利用ください。やむを得ず、**銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。**

● 住所変更等の届出について(お願い)

学会誌等の送付の際、毎回、何名かの方の住所が不備で返送されてまいります。住所等、届出事項に変更がありました場合には、すみやかに学会事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

● 入会リーフレットについて

本会設立の趣旨及び活動内容を示した「入会案内」を作成いたしました。入会申込書とセットで用意しておりますので、必要な方は随時、事務局までご連絡ください。

● 第29回学会大会参加のためのご案内について

大会への参加申込みのご案内および参加申込み用紙の送付につきましては、次号(4月発行予定)とさせていただきますので、宜しく願いいたします。

● 2007年度課題研究集会について

2007年度課題研究集会は12月1日(土)～2日(日)に龍谷大学(京都府京都市)で開催予定です。

● 販売内容のご案内

▼ ご購入希望がある場合は、その旨、事務局までお申し出ください。

No.	販売内容	価格(税込)	送料
1	『あたらしい教養教育をめざして』	3,045円	別途
2	学会誌バックナンバー	各3,500円	別途
3	学会誌バックナンバーCD-ROM (創刊号～第22巻第2号まで収録)	5,000円	別途

● 学会事務局の移転について

昨年6月より、事務局は北海道医療大学(北海道石狩郡)に移転いたしました。各種お問い合わせや、資料等の送付先は、下記のとおりです。お間違いないようお願いいたします。

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757 北海道医療大学内

大学教育学会事務局 事務局長 小野 滋男

TEL&FAX 0133-23-1487

e-mail ungakkai@hoku-iryu-u.ac.jp

URL は変更ありません <http://www.daigakuyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会第 29 回大会(東京農工大学)

「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画申込書

*同一会員が両方に申し込むことも可能です。

*e-mail で申し込みもできます。

*3月2日(金) 必着です。

申込者氏名 _____

1. 「自由研究」発表

「ラウンドテーブル」企画

(いずれかにチェックをして下さい。両方の場合は、申し込みを2枚にして下さい)

テーマ

2. 発表・企画者名 (共同研究の場合は「要領」参照)、所属機関・部局

3. 発表・企画内容概要 (日本語 300 字程度、または英語 150 語程度)

4. キーワード (5 個以内)

5. PC 用プロジェクト利用

有 ・ 無

(その他の機器)

6. 連絡先

・氏 名 :

・郵送先住所

(〒 _____)

・TEL : (_____) _____ / FAX : (_____) _____

・e-mail :

切り取ってご使用ください



【大会事務局】

〒183-0054 東京都府中市幸町 3-5-8
東京農工大学 大学教育センター内
大学教育学会第 29 回大会実行委員会
TEL/FAX: 042-367-5305 (吉永)
E-mail: yoshin@cc.tuat.ac.jp

【学会事務局】

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757
北海道医療大学内
TEL/FAX 0133-23-1487
E-mail ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp
URL <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>